



種名：二ホンウナギ *Anguilla japonica*

分類：在来種 環境省：絶滅危惧IB

茨城県：純絶滅危惧

千葉県：要保護生物

○大きさ

・成魚(ウナギ)：50~130cm 稚魚(シラス)：5cmくらい

○生息箇所(すみか)

- ・沿岸域(えんがんいき)から利根川や霞ヶ浦川全域に生息しています。
- ・テトラポットのすき間やヨシ等にひそんでいます。

○生態(どんな生活をしているか)

- ・動物食(どうぶつしょく)で魚類や甲殻類(えびやかに)等、口に入るものは何でも食べます。
- ・親魚(おやうお)は秋に川を下って、日本から南に約2,500kmはなれたマリアナ海溝まで行って産卵します。
- ・稚魚は黒潮(くろしお)にのって早春(1~3月)に日本までやってきます。

○釣りや漁業

- ・ウナギ釣りは夏が多い。エサはミミズ等が使われています。
- ・国の指定(してい)の特定水産動植物(とくていすいさんどうしょくぶつ)で13cm以下の採集(さいしゅう)は禁止されています。

○地域利用

- ・日本の食文化(しょくぶんか)と大変つながりが深い。
- ・蒲焼(かばやき)がポピュラーですが、地域(ちいき)によっていろいろな食べ方があります。例えば、白焼きや柳川(やながわ)、山椒煮(さんしょうに)、う巻き、うざく(すの物)等々。